



温度のモニタリング

- [使用例の概要](#) (1 ページ)
- [デバイスの温度監視の構成](#) (1 ページ)
- [温度履歴をグラフで表示](#) (2 ページ)

使用例の概要

温度監視のユースケースを使用して、屋内環境を管理および監視します。また、スケーラブルで合理化されたオンボーディングプロセスを備えた新しい温度センサーを追加し、センサーが特定のしきい値を上回ったり下回ったりしたときにチームメンバーにすばやく通知するルールを作成することもできます。

このユースケースは、次のことに役立ちます。

- 温度が範囲外になったときにアラートを受け取る
- 時間の経過に伴う温度変化を監視するイベントログを設定する
- すべての空間の温度に関する洞察を得る
- アセットのコンプライアンスを維持する

このタイプのユースケースでは、次のセンサーがサポートされています。

- BLE タグ
- CCX タグ

デバイスの温度監視の構成

このタスクでは、スペースを監視し、デバイスの温度の変化に関する通知を受け取る方法を示します。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Spaces で、**IoT Explorer** アプリタイルをクリックします。
- ステップ 2** [Temperature Monitoring] をクリックします。
- ステップ 3** [Get Started] をクリックします。
- ステップ 4** [Use Case Name] フィールドに、ユースケースの名前を入力します。
- ステップ 5** [Description] フィールドに、ユースケースの説明を入力します。
- ステップ 6** [Create Use Case] をクリックします。
温度監視のユースケースを、センサー、ルール、およびユーザーをセットアップするためのさまざまなオプションを使用して作成しました。
- ステップ 7** IoT Explorer : [Active Use Cases] から、新しく作成した温度のユースケースを選択します。
- ステップ 8** デバイスで使用可能なセンサーをユースケースに追加します。センサーは個別に追加したり、一括で追加したり、Cisco Spaces にオンボードされたセンサーから追加したりできます。[Sensor](#)を参照してください。
- ステップ 9** このユースケースにアクセスできるユーザーを追加し、必要に応じてカスタムユーザーロールを追加します。[ユーザーとユーザーロールとは](#)を参照してください
- ステップ 10** 次のいずれかが発生したときにチームにすばやく通知できる [Rules] を設定します。
- [Temperature Rise] : センサーを監視し、温度が上がるとイベントをトリガーします。
 - [Temperature Drop] : センサーを監視し、温度が下がるとイベントをトリガーします。
 - [Temperature in Range] : センサーを監視し、温度が設定可能な範囲内にある場合にイベントをトリガーします。
 - [Temperature outside Range] : センサーを監視し、温度が設定可能な範囲外にある場合にイベントをトリガーします。
 - [Sensor Not Heard] : センサーが指定された間隔の間、検知されなかった場合にイベントをトリガーします。
- ステップ 11** イベントをトリガーする条件を設定します。[ユースケースのルールを作成](#)を参照してください
-

設定した温度ルールによってイベントがトリガーされると、それらのルールを [Events] タブで確認できます。

温度履歴をグラフで表示

このタスクを使用すると、デバイスの温度変化をグラフィック表示で視覚的に確認できます。このグラフをカスタマイズすることもできます。

手順

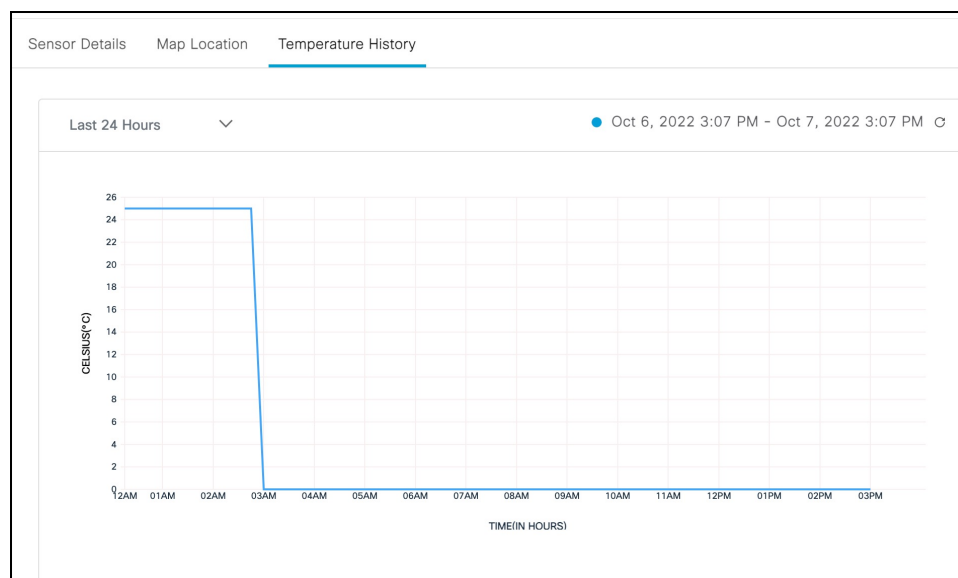
ステップ 1 Cisco Spaces : IoT Explorer : [Active Use Cases] から、新しく作成した温度監視のユースケースを選択します。

ステップ 2 次のいずれかを実行します。

- [Sensors] タブに移動します。
- [Configure] タブの [Manage Sensors] 領域で、[View Sensors] をクリックします。

ステップ 3 センサーをクリックして、デバイスで発生している温度変化を確認します。[Temperature History] タブでは、サポートされているセンサーによって、一定期間のデバイスの温度をグラフで表示できます。ここで、表示されている期間を変更することもできます。

図 1: 温度履歴をグラフで表示



翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。